

# 令和8年度 陽明中学校スクールプラン

**【学校教育目標】 協同的で探究的な学びによって自らを高めていく生徒を育てよう**

## — めざす生徒像 —

- ・課題を見つけ、課題に挑戦し、ねばり強く取り組む生徒
- ・自分の思いや「わからなさ」を積極的に伝え、他の意見を聴き、共に学びを深めようとする生徒
- ・学び合いの中で、自らを高め、その高まりを実感し、次に生かすことができる生徒

## 研究主題

## 互いに学び高め合う「深い学び」の実現

～学びの姿を見取り、「対話」と「振り返り」の質を高める～

## — 重点目標 —

【授業づくり】	【集団づくり】	【信頼される学校づくり】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分から学ぶ」「仲間から学ぶ」「ねばり強く学ぶ」生徒を育てる。</li> <li>○自分らしさを発揮し、誰もが安心して学べる環境を作る。</li> <li>○協同的な学びにより、一人一人の学びを保障する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的な学級活動や生徒会活動を通して、自治の力や一人一人の自己有用感を育む。</li> <li>○協同的な集団活動を通して、望ましい人間関係を作る力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校が、家庭・地域に信頼される。</li> <li>○家庭・地域と共に、生徒を守り育てる。</li> </ul>



## — 具体的な取組 —



<p><b>○挑戦のみえる授業改革</b></p> <p><b>【朝活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士の対話を通して、互いに学び高め合おうとする学級づくりを行う。</li> <li>・対話の質を高める手段の一つとして「NIE」を取り入れる。</li> </ul> <p><b>【探究】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動で育成を目指す資質・能力を生徒と教員で共通理解し、それを意識した活動を共に進める。</li> <li>・探究の質の向上を図るために、探究のプロセスをふまえて計画を立て、各活動で振り返りを行う。</li> </ul> <p><b>【互見授業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一授業実践、事後研究会を通して、互いのスキルアップを図る。</li> <li>・ファシリテーターとしての在り方を研究する。</li> <li>・教科の枠をこえ、「こどもが主役」の学びのデザインを研究する。</li> </ul>	<p><b>○生徒主体の活動の充実</b></p> <p><b>【活動タイム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との意見交流を通して自分の考えを深める。</li> <li>・主体的活動を充実させるための集団づくりを行う。</li> <li>・ポジティブ教育のアプローチを取り入れ、自己理解・自己管理能力や人間関係形成・社会形成能力の育成を図る。</li> </ul> <p><b>【生徒会活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会ごとに、学年部会を設置し、小学校での学びを生かし、一年時から学年の実態に応じた活動を行うことで、生徒の主体性を育む。</li> <li>・対話を通して現状を分析したり、具体的な目標や取組を共に考えたりすることにより、自分事として捉え、主体的に行動できる集団づくりを行う。</li> </ul>	<p><b>○学校公開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、教育活動の様子を公開できるように、学校公開日を設ける。</li> <li>・学校公開日に道德の授業を公開し、地域と共に道德教育を推進していく。</li> </ul> <p><b>○学校だより</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からのたよりと、家庭・地域からの返信のやりとりを通して、共通理解を図る。</li> </ul>
<p><b>○チームでの学級づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、学級経営案をもとに、担任と教科担任が学級の理想像を共有して、定期的に情報共有や振り返りを行い、チームで学級づくりを行う。</li> </ul> <p><b>○特別支援教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に特別支援教育コーディネーターを配置し、毎週のサポート委員会や毎学期の特別支援教育委員会を通して生徒への支援の在り方についての共通理解を深め、全教職員で丁寧に対応する。</li> </ul> <p><b>○教育相談の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談月間での生徒との面談やスクールカウンセラーの全校生徒一人一人との面談を通して、生徒理解と不適応・不登校の未然防止につなげる。</li> </ul>		

## — 数値目標 —

学校が楽しい 60% 皆で何かをするのが楽しい 65% 主体的に学ぶ 50% 授業が分かる 40%  
夢や目標がある 50% 小学校からの学びを生かす 45% 学校と共通理解のもと生徒を育てている家庭 40%

## — 業務改善のための取組 —

- ・各担当別の業務引継書を更新しながら、随時、業務の見直しを行う。
- ・学校づくり推進委員会を設置し、教育課程の振り返りと改善を行う。
- ・随時研修を行い、教員のスキルアップを図り、業務改善への意識を高める。